

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 川崎重工業(株) 播磨工場

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1 - 1 環境保全活動に関する基本方針

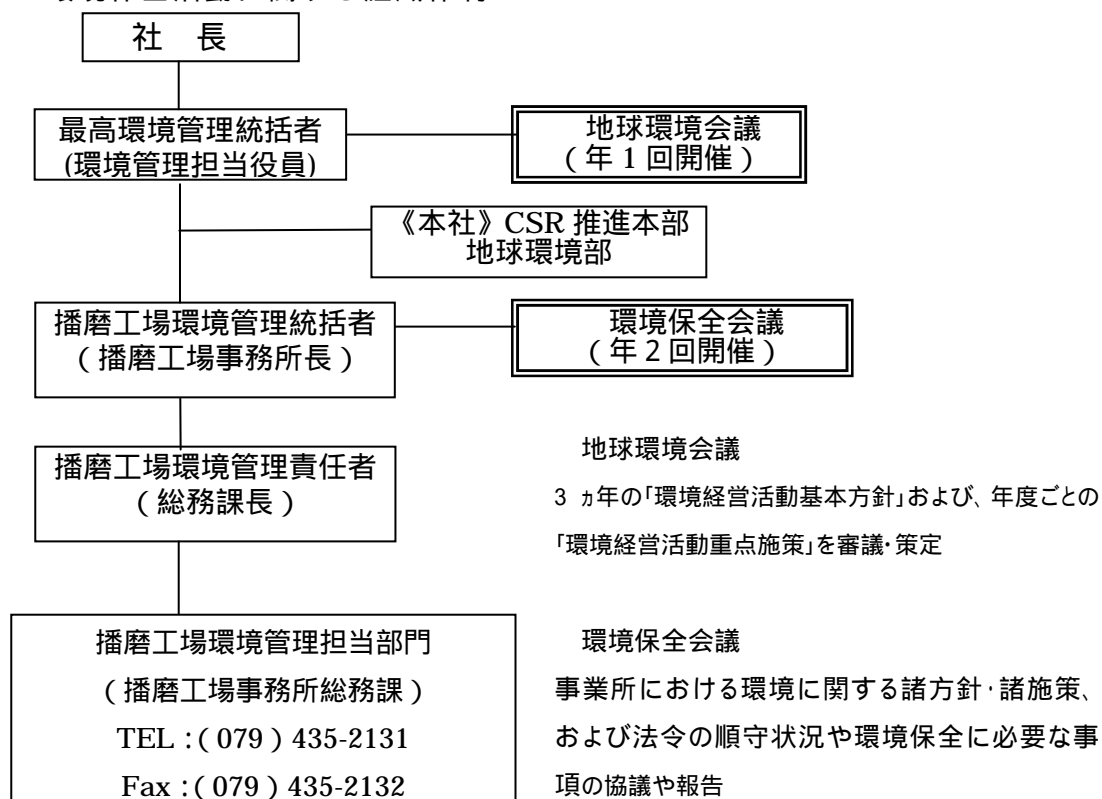
地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、世界全体が人類共通の課題として取り組まなければ解決できないような深刻な状況になりつつあります。太陽の恵みによる地球の自然循環がもたらす、大気・海洋の循環による自浄能力や生態系の循環による生物の再生能力を超えた、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会は、もはや許されなくなっています。

川崎重工グループは、「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」という**グループミッション**の下で、地球環境の保全のために、1999年に制定した環境憲章の行動指針を基本姿勢として、世界の持続可能な発展に貢献していきます。

川崎重工グループは、環境憲章の環境基本理念に基づき、「低炭素社会の実現」「循環型社会の実現」「自然共生社会の実現」という3つの社会の実現と、これらを実現するための土台となる「環境マネジメントシステムの確立」の4項目を基本指針とし、持続可能な社会への貢献を目指しています。

(当社ホームページにて公表)

### 1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



## 2 環境保全活動の実施状況等

| 項目           | 取組結果   | 今後の取組計画   |
|--------------|--|---|
| 自動車公害対策      | 1. 従業員送迎用大型バス運行による自家用車の低減<br>2. 製品輸送の最適化<br>(海上輸送の活用による大量輸送適用)   | 製品輸送時の効率化<br>(モーダルシフトの積極的活用)  |
| 化学物質対策       | 1. PRTR法対象物質の排出量削減<br>(有害物質使用量の削減)<br>2. PCB機器の適正保管・管理の実施<br>3. 計測機器の維持管理<br>4. 計測機器の異常値計測時のシステム対応   | 1～3の継続実施<br>PCB 機器処理計画の策定・実施  |
| エネルギー対策      | 1. 電力使用の削減対策<br>工場建屋に自然採光することで工場照明の使用箇所の削減<br>空調設備の温度管理、時間管理の徹底他<br>電力削減日常活動推進<br>コンプレッサのインバータ型への更新<br>変電所トランスの省エネ型への更新<br>関電からの節電要請に対する対応<br>2. ガス使用量削減日常活動推進<br>3. 定期パトロールによる不要エネルギー削減<br>4. 保安詰所にグリーンカーテン拡大 | 省エネ型機器の積極的導入<br>◆変電所トランスの省エネ型への更新継続<br>節電対応策の検討・実施<br>◆グリーンカーテン 継続<br>◆エネルギーの見える化 |
| 廃棄物対策        | 1. 廃棄物の3R活動の推進<br>日常削減活動の実施<br>リサイクル率100%の達成による<br>ゼロエミッションを維持<br>電子マニフェストの導入  | 廃棄物の3R活動の継続実施<br>電子マニフェスト活用   |
| 緑化対策         | 1. 樹木の定期的剪定による緑地の維持管理を実施<br>2. 花の苗植え換えによる花壇の維持管理   | 継続実施  |
| グリーン購入       | 1. グリーンマーク商品購入の継続  | 継続実施  |
| 環境マネジメントシステム | 1. ISO14001認定継続<br>a. 定期審査に合格  | ISO14001の認定継続   |
| 環境教育         | 1. IT活用による環境教育システム(e-ラーニング)を実施<br>2. 管理者環境教育<br>廃棄物処理場の見学を実施   | 従業員の環境意識の向上を目的にした環境教育を引き続き実施  |
| 地域社会活動への参加   | 1. 工場周辺地域の環境改善への貢献<br>人工島内一斉清掃およびグリーンキャンペーン参加<br>播磨町環境保全協議会への参加<br>新島連絡協議会への参加<br>播磨町ロードレース大会の参画   | 継続実施  |
| 環境コミュニケーション  | 1. 環境情報の公開<br>全社の環境情報を当社HPで公開<br>CSR報告書2012発行  | 継続実施  |